国労盛岡
発行所　国鉄労働組合 盛岡地方本部
発行者　齋藤庄司
編集者　中堤聡司
TEL 019-622-5021
メールアドレス nrumori@poem.ocn.ne.jp
2009.12.10
第1416号

拡大キャッチコピー
「新しい仲間づくりを皆の力で」
「一緒に解消しませんか、あなたの疑問。加入まってます」

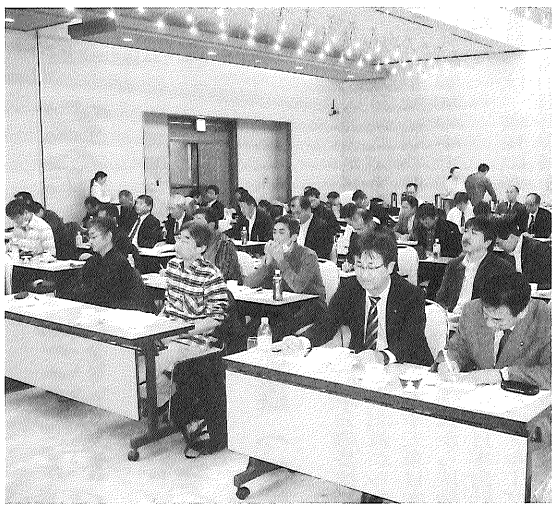
国労東北協議会
活動家交流集会

組織の拡大を意志統一

◇和解後、東日本内で67人が国労加入◇

四者・四団体主催による「一一・二六集会」の成功で、JR不採用問題の解決への機運は大きく盛り上りを見せている。こうした中で国労東北協議会は一一月二九日・三〇日の二日間、松島町の「パレス松州」で「国労東北活動家交流集会二〇〇九」を開催した。集会へは盛岡からの一四人を含め全体で四二人が参加した。

交流集会では海渡雄一東日本本部顧問弁護士、高橋伸二国労本部委員長、そして松井正義東日本本部書記長から多岐に渡って講義や情勢報告が行われ、盛岡地本からの二人を含めた五人による職場活動の報告交流とあわせ、組織拡大にむけた意思統一をさらに深める場となった。なお、東北議員団総会、協議会総会もあわせて行われた。


＝活動家交流集会には42人が参加した＝

海渡弁護士の「人権」講演も

交流集会は、主催者を代表し橋本昭二議長（仙台地本）が「二日間の交流集会で意思統一を図り、東日本本部・本部を押し上げる運動に展開していこう」と挨拶。続いて齋藤庄司事務局長（盛岡地本）から、海渡雄一弁護士（国労東日本顧問弁護士）が紹介され、「えん罪を生まない刑事裁判のために」「平和・人権保障の礎としての憲法」とのテーマで講演に入った。

海渡弁護士は、「一つの事件で二三日間も拘禁されるのは日本だけ。他の国は二四時間が基本。長期に及ぶ取り調べの中で自白を強要させられる危険がある」また、「国労も国の政策として行なわれた不採用問題では人権侵害を受けた」と強調した。

その後、高橋伸二本部委員長が一一・二六集会や、鳩山民主党政権後の取り組みについて、「不採用事件、『民主党としても解決が作り出せるよう尽力していきたい』と表明。この機に年内解決を図り、来年の二・一六集会は解決報告集会にしたい」と報告。

武田幸喜東日本本部組織部長から、「二〇〇四年以降は脱退が少なくなり、国労加入が多くなっている。一括和解以降は六七名が加入。一〇〇名を目指して頑張ろう」との提起を受け初日を終えた。

夕食交流では、社民党の吉泉秀男衆議院議員、国労議員団から激励の挨拶と、昨年一二月に国労加入の兜森秀昭さん（仙台地本）が紹介され、自己紹介と決意を込めた挨拶に会場は盛り上がった。

二日目は、松井東日本本部書記長が今後の取り組みと課題を提起、「制度改善要求は二〇一〇年度新賃金要求と併せて提出する。検修外注化施策はエルダー社員の労働条件の改善と一体で取り組んでいく」などと述べた。これに対し五人から質疑があった。盛岡からは菊池地本執行委員が「昇進試験問題がJRも出向者も同じであり出向者には不利である。エルダー社員の職域を拡大する必要がある」と発言。「出向者の試験、問題点は理解する。国労の三割が出向するとみられる。課題とする」との回答があった。

途中、因泥一東日本本部青年部長が駆けつけ、「なかなか仕事が覚えられない中、国労の先輩に一生懸命仕事を教わった。悩みも聞いてもらい人間的にひかれた」と自分の国労加入時の思いを述べた。

職場活動の報告では、五人の仲間が報告。盛岡地本の戸田智章さん（盛岡貨物）が過去最低の年末手当、合理化で勤務形態が変更し事故時の即応体制への疑問や組織拡大の取り組みを報告。佐々木政志青森支部書記長も、新幹線延伸に伴う経営分離の問題点や並行在来線対策会議の取り組み、青森駅連合分会の組織拡大の取り組みを報告した。

何時までも若いと思っていた国労の平成採用者も今年度九人が青年部を卒業する。交流集会を通じて学んだことを職場に持ち帰り、不採用問題の早期解決や組織拡大にむけ取り組んでいきたい。

青森電気分会　及川　孝

参加者全員で記念撮影

地本家族会総会

出会った仲間大切に 楽しさ見つけ活動を

＝市澤貢子（八戸）＝

一一月二九日に第四五回家族会盛岡地方連合会定期総会が八戸地区協事務所で盛岡五、北上四、一関五、青森三、八戸二の一九人の代議員と役員六人、地方本部、来賓の方々を含め約三〇人が参加し開催されました。

最初に阿部むつ子会長から「年々家族会への参加人数が減り、活動が思うようにいかない状態にあり、特に役員人数も少ない中で色々の行事をこなさなければならず厳しい状況にあります。でも、一一月一五日の青森支部定期大会に参加いただいた音威子府闘争団家族会の杉山智子会長の『家族会の運営にあたり役員改選に悩む時間がもったいない』という話を聞き、確かに人数が少ないと大変ですが、少ないながらも厳しい状況にだけにとらわれず、活動の中に、楽しさを見つけ、より絆を深めていくことが大切だと思っています」と挨拶がありました。

地方本部を代表し阿部一久執行副委員長からは、「鳩山連立政権なった今が不採用差別事件の解決のチャンスだ」精一杯頑張るとの挨拶を受けました。合わせて、家族会運動強化むけ、組織の拡大の取り組みも重要であるとの訴えもありました。

その後、経過報告、決算報告、活動方針、予算の提案があり承認され、役員を選出し、スローガン読み上げ確認し総会を終わりました。

総会に参加し組織数の減少、組合員の高齢化などを強く感じました。年齢を重ねることにより、様々な悩みを抱える組合員や家族会会員も多いと思います。最初の阿部会長の挨拶にあったように、お互いの立場を思いやり、より絆を深め、せっかく出会うことのできた仲間を大事に地道に運動を続けていくことが大事なんだなと強く感じました。

なお、新役員体制は次の通り確認されました。

◇

会長
佐々木香代子（盛岡）
副会長
佐々木　春枝（青森）
常任委員
千葉　裕子（一関）
中堤　久江（盛岡）
佐々木ゆかり（青森）

本部方針のもとに頑張る

＝第24回国労東北協議会総会＝

国労東北協議会は、一一月二九日に同協議会主催による活動者交流集会に合わせて第二四回定期総会を開催した。代議員は、各地本から三人と東北貨物協議会から一人の計一〇人。役員は、各地方本部の役員から選出している。

総会では、不採用事件は解決に向け新たな局面を変えている今日、本部方針の下で早期政治解決に全力で取り組んでいく。また、春闘決起集会、活動家交流集会は引き続き取り組み、組織の拡大に結び付けていくことなど意思統一を図った。なお、役員の体制も次のとおり確認した。

◇

（東北協議会役員体制）
▽議長
瀬下　一司（秋田地本）
▽副議長
齋藤　庄司（盛岡地本）
▽副議長（兼事務局長）
橋本　昭二（仙台地本）
▽幹事
渡邉　敦（秋田地本）
佐々木　力（盛岡地本）
五十嵐　敬（仙台地本）
岩井　幸二（貨物協）
▽会計監査
小林　良宏（盛岡地本）
久米　隆一（秋田地本）

無料法律相談

担当・菅原一郎弁護士
（盛岡市）
〈問合せは地方本部へ〉

当面の主な日程

▽12月13日（盛岡）
第1回交渉委員・職能別協議会代表者会議
▽12月14日（盛岡）
岩手県交運労協定期総会
▽12月14日（東京）
東日本本部各地方本部書記長会議
▽12月18日（盛岡）
第3回執行・闘争委員会
▽12月29日～1月3日
地本書記局年末年始休
▽1月9日（盛岡）
盛岡支部旗開き
▽1月9日（青森）
青森支部地区協・分会代表者会議及び旗開き
▽1月12日（盛岡）
社民党岩手県連合・平和環境岩手県労組センター合同旗開き

◇

ていこう

久しぶりに皇居を走った。一周五キロとはいえ、練習不足の身体は悲鳴を上げた。さて、あまり知られていないが、皇居の周回コースには各都道府県の敷石が一〇〇メーター毎に埋められている。四七都道府県と皇居のある千代田区、他に「花の輪」が二個で、敷石は五〇個となり、実際の距離表示とも合致するようになっている。ランニング大会の多くは、スタート地点が桜田門「時計台」前で、スタートして最初に見える敷石は沖縄県だ▼沖縄県では、米軍普天間基地の移設問題について、「県内たらい回しはやめてほしい。普天間基地は一刻も早く撤去してというのが県民の思い」と訴えている。一一月八日には「辺野古への新基地建設と県内移設に反対する県民集会」に二万一千人が参加した。「沖縄に米軍基地はいらない」と、国内各地で沖縄に連帯する取り組みも行われているが、「労働組合が平和と民主主義にもっと力を発揮してほしい」との指摘も強まっている▼戦後六五年目となった二〇〇九年も終ろうとしている。しかし、大戦で亡くなられた遺族や被爆者、基地問題を抱える人々にとって、今が戦後といえるのか。苦しみと悲しみに終止札を打つのは何時になるのか。日本国憲法の基本理念を政治と暮らしに生かし、平和を守るためにも、憲法改悪反対の運動を強めたい▼皇居周回コース三キロ付近に千鳥ヶ淵公園があり、「千鳥ヶ淵戦没者墓苑」がある。一九五九年に国によって建設され、フォーラム平和・人権・環境は、毎年八月の終戦日に「追悼平和集会」を開催している。あやまちは繰り返してはならない。（力）

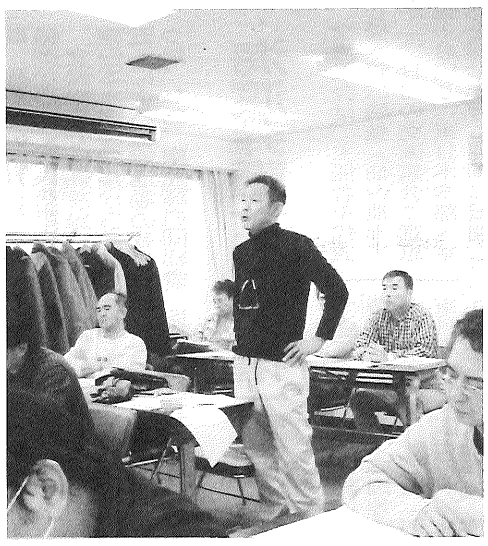
＝地本運転協議会＝

安全・安定に逆行の検修合理化
検証し車両の安全を求めていく

＝議長に佐藤英雄（一関運輸分会）を選出＝

盛岡地方本部運転協議会は、一一月二八日盛岡国労会館で二〇〇九年度定期委員会を約三〇人の参加の中で開催しました。

委員会は、議長に盛岡運転分会の畠山信吾委員を選出。


貨物の実態を訴える舘川委員（盛岡貨物分会）

佐藤英雄協議会議長挨拶、佐々木力地本書記長からの挨拶に続き、立木幸夫東日本本部運転協議会議長から挨拶と一〇月二九日に東日本会社から提案を受けた「グループ会社と一体となった業務体制のさらなる推進」に伴う検修全面外注化の問題点の提起を受けました。

検修全面外注化について立木議長は、「特にも今回の外注化施策は安全・安定輸送に逆行し、人減らし、コストダウンによる合理化事案である。今までの事故事例を把握し検証し必要な車両の安全を強化していくことが求められている」としたうえで、今後の運動の進め方について、職場での集会・学習会を開催し問題点を話し合い、出された意見を集約し要求作りに取り組み、徹底した解明を進めていきたい。皆さんの協力をお願いしたいと考え方が示されました。

その後、一年間の経過、二〇〇九年度の活動方針の質疑に入り、貨物の組合員からは、二月の新幹線青森駅開業の問題点などに質問が出されました。これを受け執行部が答弁し運動方針は拍手の中で承認され、役員改選と委員会宣言採択と続きました。今委員会までは協議会としては、委員会宣言は採択したことがありませんでしたが、今回の検修全面外注化の問題は、「車両」「安全」に大きなかかわりをもつ事案であるだけに今委員会での採決となりました。

委員会も終わりに近づき、新旧役員の挨拶、議長退任と進み最後に佐藤議長の音頭で「要求の多数派から組織の多数派へと組織拡大に繋げる旅客・貨物一体の運動をスローガンに」団結ガンバローを三唱し散会しました。

新三役体制は次の通り。

◇

議長　佐藤　英雄（一関運輸区）
副議長　高橋　清光（青森車両セ）
事務長　湯沢　等（盛岡運輸区）
川原　昭（盛岡幹車両セ）
〈報告・川原昭事務長〉

年末手当が前年度実績から〇．四二五減の一．五七五ヶ月分の超低額回答、ベースアップもゼロの厳しい実態とカンパ、職場解明要求に対する問題点などが報告されました。また、旅客会社関連でも、「運転士の見習い時期、訓練期間、時間も少なく安全上問題がある」「東労組でも今回の全面外注化を知らない人がいる。もっと組合掲示板を利用してはどうか」「出向職場（アメニテック）でも交渉はできないのか」の実態や意見と安全衛生委員会の開催状況、来年一

監査員・財政担当者
15人の参加で学習会

地方本部は、地方本部・支部会計監査員及び財政担当者学習会を一二月一日国労会館会議室で一五人参加の中で開催した。

学習会は、日頃扱っている財政関係について理解を深めていくことなどを目的に神田高志国労本部会計監査員を講師に招き行われた。

若い参加者が多く心強く

◇会場一角に国労闘争団物販コーナーも◇

第46回護憲大会・長野市（11月1日～3日）

一一月一日から三日間長野市において開催された第四六回護憲大会に岩手の代表団一四人の一人として参加してきました。

主催者挨拶に続き来賓として出席された福島瑞穂社民党党首からは、三党連立政権の合意内容の説明をいただき、平和の取り組みのため改めて社民党の重要性を感じました。「政権の中にいる立場で、堂々と駄目なものはダメ、憲法調査会は動かさない。九条を改憲する必要性は全くない。在日米軍基地のあり方も見直しの方向で取り組んでいく」と力強い期待できる言葉として受け止めることができました。これまでの私達は、政府に対して要求していくことが行動でしたが、新政権の中で、いかにして自分達の手で実現して行くかという、より一層の私達の運動が求められた挨拶だったと思いました。

今回初めて「信州上田・人権と不戦の誓いツアー」タイトルのフィールドワークに参加しました。最初に訪れた無言館では、太平洋戦争で志半ばで戦地に散った画学生の遺作を鑑賞しました。展示されている絵は一人ひとりの生きた証であり、今生きていることの大切さを感じることができました。二〇〇七年に盛岡で今年は奥州市で全国巡回展が開催されています。多くの人に鑑賞してほしいと思います。次に訪れた長福寺では、被差別部落民が死亡した際、読み書きのできないことにつけこんで、被差別部落民の墓だとわかる特定の文字を使った墓石を見学しました。心のそこから怒りを感じました。最後に信州農村開発史研究所では、朝科村での部落差別の話を聞きました。この施設は、部落の歴史を核となって研究を進める組織作りが進められ、部落の人の思いとこの取り組みに共鳴した人々の思いを受けて設立されました。部落差別は何故あるのか、長年知りたくて話を聞きましたが、残念ながらわかることができませんでした。今後の課題としていきたいと思います。

今年の参加者は、前回参加の時よりも若いメンバーが多く心強い思いがしました。

大会期間中設けられていた物販のコーナーには、平和に関する冊子、地元の土産品が並ぶ中で、国労闘争団のコーナーも設けてあり、人権を守る取り組みとして位置づけていただいたことに大変うれしく有難く思いました。集約挨拶で、来年は宮崎県での開催が報告され、リンゴからマンゴーへと引き継がれ会場が沸いての終了となりました。

一関運輸分会　小野寺京子

第14回東日本本部マラソン大会
〈駅伝〉盛岡地本チームは8位
個人は秋本樹選手（盛岡駅連）の11位が最高

一一月一四日、第一四回国労東日本マラソン大会が皇居一周五ｋｍのマラソンコースで約二二〇人か参加し開催された。当日は米オバマ大統領訪日期月と重なり、桜田門時計台前は全面規制され集合場所を「楠政重」銅像前に変更、開会式が一一時三〇分から開催され高野東日本本部委員長の主催者代表挨拶、長野地本の優勝カップの返還、選手宣誓を受け競技に入った。

競技開始時刻には雨もやみ、六四人エントリーの個人マラソンがスタート位置を変更し一周五ｋｍのコースを一二時にスタート。盛岡地本から六人が参加した。スタート直前に天皇との昼食会に出席するオバマ大統領らのリムジンや警備車両約三〇台が桜田門を通って皇居に入った。

駅伝は一九チームがエントリー。他チームは子弟が多く参加する中、盛岡地本チームは全員五〇歳代の壮年者で挑んだ。キャプテンの吉田雅美（盛岡電気分会）が第一区を七位でタスキを渡し、以降五人がタスキを繋ぎ八位でゴール。日頃各地のマラソン大会に参加している組合員も国労の旗の下の今マラソンを毎年楽しみにしているという。最後に缶ビールで乾杯して来年の参加を約束して散会した。

◇

〈駅伝メンバー〉
一区　吉田雅美（盛岡電気）
二区　八嶋昌二（青森運輸区）
三区　花田長蔵北上施設）
四区　村上敏光（八戸運輸区）
五区　秋本　樹（盛岡駅連合）
六区　佐藤隆文（一関工務）
〈個人マラソン参加者〉
一一位秋本　樹（盛岡駅連合）
一四位佐々木力（八戸工務）
二五位花田長蔵北上施設）
二七位工藤仁嗣（青森運転）
四七位梅沢　昇（盛岡貨物）
五一位工藤圭子（家族）

タスキは、5区の秋本選手から最終区の佐藤選手へ

マラソン大会に参加し一言

個人マラソンスタート時には、オバマ大統領を乗せたリムジンが皇居を訪れ、マラソン大会を盛り上げてくれたような気がします。皇居外周を妻と一緒に走ることができ楽しく、最後に飲んだビールも美味く、また機会があったら参加したいと思っています。ありがとうございました。組合員だけの駅伝メンバーの皆さんお疲れ様でした。

（青森運転分会＝工藤仁嗣）

東北ろうきん
ウィンターキャンペーン2009
キャンペーン期間 11/2(MON) ⇒ 12/30(WED)
期間中、下記の条件でお預入れ・ご契約いただいたお客さまへ
『便利なレンジ調理・保存容器』をプレゼント！
レンジでチン。手軽でおいしい温野菜の出来上がり！
［定期預金］5万円以上の新規お預入れまたは増額書替え
［積立型預金］財形預金、エース預金のうちいずれか 年間積立額5万円以上の新規ご契約または積立額増額のご契約
［フリーローン］新規ご契約
具体的なお問合せは
東北労働金庫
ローン特別相談会
開催中
＜期　間＞ 2009年10月1日から2010年3月31日
＜開催店舗＞ 青森・八戸・弘前・盛岡・北上・水沢・秋田・横手・本荘の各支店
※土曜日も相談受付（9：00～16：00）
生活応援バンク ろうきん
0120-1919-62 http://www.tohoku-rokin.or.jp